

## 通学区域変更、学校統合に関する計画（原案）説明会 参加者意見等

開催日時 平成24年7月7日（土）午前10:00～11:40

開催場所 多摩第三小学校 2階 ランチルーム

参加者 3名（女2・男1）

市側説明者 教育部参事、教育指導課長事務取扱教育部参事、教育部副参事、  
教育振興課長、学校支援課長、学事・一定規模適正配置担当2名

### ●資料説明に対する質疑等

○学級数の推移で何人での編制と想定したのか？

⇒小学校は1・2年生が35人、3～6年が40人、中学校は1年生が37人、2・3年生が40人で算出している。

○1クラスの人数について、今後の動きをどう見ているか？

⇒小学校1年生が35人ということは法律で決定しているが、小学校2年生、中学1年生は法改正で変えるのではなく、国や都の予算化による教員の配置で対応している。

○教室数が足りなくなれば、少人数指導を行う教室も含め、プレハブ校舎の建設も考えていくことになると思うが、どうか？

⇒人数が増えてくることにより、将来的に教室が足りなくなる場合もある。その場合には、教員の加配によるチームティーチングなどの対応も考えられる。

○指定校以外の学校に就学できる基準の部活動等の要件での東愛宕中学校への入学者数をどのくらいで考えているのか？東愛宕中学校のソフト面とハード面の整備について教えてほしい。

⇒中学校においては部活動の有無を指定校を変更する理由の1つとして考えている。指定校に希望する部活動がない場合は、部活動のある学校への希望を優先度Cとして認める。ただし、優先度A・Bを受け入れても受入の人数に余裕がある場合、就学を認めていく。東愛宕中学校のハード面の整備については現時点では考えていない。ソフト面については、見直しにより各学年3学級規模の学校にしていくことで望ましい教育環境にしていきたいと考えている。学級数の増加により教員数も増えることで、部活動の種類も増えていくと考えている。